

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・7月、8月には夏のイベントがめじろ押しで、かなりの来客数が見込める。夏物商品の出足がなかなかよく、夏物のバーゲンも大きな売上が見込める。
		百貨店（売場担当）	・梅雨に入り、夏物衣料商戦も盛り上がりえないままクリアランスセールを迎えるが、賞与も出始め、梅雨明けと同時に夏物衣料やお中元の買物が期待できる。
		衣料品専門店（経営者）	・7月にかけてボーナスが出そう。バーゲン時期にも入ることから大きな売上げが期待できる。
		家電量販店（営業担当）	・エアコンの需要期に入り、気温の上昇とともに来客数も上昇している。テレビ、冷蔵庫、洗濯機などにも多少の期待が持てる。
		タクシー運転手	・6月後半から7月に入って株主総会があり、また梅雨も明けるといってやや良くなる。
		ゴルフ場（従業員）	・季節は良くなり、予約もよく入っている。
	変わらない	商店街（代表者）	・通行量の減少等により、街に活気がない。
		百貨店（営業担当）	・ファッション関連商品及びブランド商品群についても低調な動きであった。また、中元の前しょう戦も苦戦している。
		スーパー（店長）	・石油の高騰などで商品の価格が、少しずつ上昇傾向にある。また、公共事業費支出が大幅に削減される影響が出てくる。
		スーパー（店長）	・収入の伸びが期待できない状況では価格に走る状況に変化はない。
		スーパー（店長）	・ハムやティッシュの値上げなどが続き、売上が上昇する材料も出てきた。
		スーパー（店長）	・外的環境は何も変わっていない。
		スーパー（財務担当）	・7月よりたばこの値上げが予定されており駆け込み需要はあるものの、野菜の高騰等による食材の売上が心配である。
		一般レストラン（経営者）	・大企業の好決算とは裏腹に、多数の同業者の参入により、ますます苦戦を強いられている。
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況があまり変わらない。また、販売単価が下げ止まっておらず、景気が良くなっていない。
		観光名所（経営者）	・予約が低調である。
	美容室（経営者）	・原油価格の高値推移や金融政策の不透明さ、また総裁選を控え今後どのような動きになるか現時点では先の見通しが立たない。	
	設計事務所（所長）	・景気回復の実感がないにもかかわらず、地価の上昇気配があり、景気回復に水を差している。	
	その他住宅（住宅ローンセンター）	・最近の景気の動向によって給与などに変化が起こったという話も聞かない。数か月で景気は変動しない。	
やや悪くなる	スーパー（予算担当）	・7月以降、紙類など石油関連の生活消耗品が値上げされ、店頭価格にも反映されてくるので、消費が鈍くなる。	
	衣料品専門店（経営者）	・原油高によって物価が上昇して買い控えをしている。	
	乗用車販売店（従業員）	・今後の景気について、周りから良い話は聞かない。購買に関して買い控え感がある。大型消費財はまだまだ難しい。	
	乗用車販売店（従業員）	・燃料の高値が続くと、軽四以外の販売は厳しい状況が続く。	
	住関連専門店（経営者）	・販売量が、前年に比べて、まだ回復できていない。	
	その他専門店〔CD〕（店員）	・原油価格の上昇が少しずつ悪影響を及ぼしてくる。	
	観光型旅館（経営者） タクシー運転手	・今のところ、7、8、9月の予約状況は前年より悪い。 ・新しい駐車違反の取締りが始まったが、高松はタクシーをつける場所が少なく病院、駅、県庁などに殺到しており、配車に時間が掛かる。極端に暑くなってくれば客に乗ってもらえるだろうが、天候頼みであり、今より良くなることはない。	
設計事務所（職員）	・リストラ、単価ダウン、販売量ダウン、歩留り低下等の悪循環が懸念される。		
悪くなる	一般小売店〔生花〕（経営者）	・1年間でも一番暇な時期に入り、またボーナスが出て、お中元が昔ほど出ないので、売上は期待できない。昨年と同じ時期、公務員関係のお中元がかなり落ち込んでいたので、昔並みの売上は期待できない。	

企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（従業員） 木材木製品製造業（経営者）	・秋の新商品が出るので、それに期待をかけている。 ・着工数が依然、前年比で伸びている。また、鉄、石油、土地、原木、合板など原材料関係すべてが値上がり方向にある。秋の需要時期を迎えて買い控え感のあったものが、買い急ぎの状況を呈してきており、秋に向けて若干景気は上昇する。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・トイレットペーパーの価格修正のアナウンスのため、荷動きが活発になり、新商品の売上が少しずつ増加傾向にあるため、良くなっていく。
		通信業（営業担当）	・量販店の経営者層から、時計、背広、おしゃれなシャツなどミドルエイジの男性用高額商品が昨年までに比べて売れているとの話を聞く機会が多くなってきた。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・百貨店、量販店、一般ギフトチェーンにおける消費は厳しい状況が続いている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・関西地区では、神戸・ウォーターフロント区域・大阪梅田地区等の開発案件が控えている。また、九州地区では北九州・大分を中心に鉄鋼・自動車等の設備投資も控えており、クレーンの稼働は、高稼働状態が今後も継続する。
		建設業（経営者） 金融業（融資担当）	・公共事業は相変わらず減少している。 ・公共工事が大幅に減少しており、県内の主要産業である建設土木業は極めて厳しい状況にあることから、引き続き厳しい状況が続く。
		広告代理店（経営者）	・多くの得意先では、今後の商戦等の広告費は現状維持が精一杯の様子である。
	やや悪くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・全国的に受注引き合いが少なく、先が読めない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・受注確定していたが、客の都合等によりキャンセルするケースが2、3件あった。設備投資は、大手企業以外は手控えている。
輸送業（役員）		・原油価格はまだまだ値上がりしそうで、運送業者は赤字のところが出始めている。また物価上昇の気配もあり、企業も個人も財布のひもをしめかけており、景気は悪くなる。	
輸送業（支店長）		・駐車違反の民間委託が6月から施行され、物流業社として燃料高騰、環境対策に加え集中中の駐車問題で新たなコストアップ要因となった。運賃料金への転嫁が進まない中、業界団体として規制緩和措置の適用が喫緊の課題となっている。	
通信業（支店長） 不動産業（経営者）		・番号ポータビリティを控えて販売が低迷する。 ・オファーが減ってきている。住居に対する消費マインドがかなり冷えてきたように思われ、今後もこの状況は続く。	
悪くなる	建設業（総務担当）	・生き残りをかけての受注獲得競争がますます烈になり、コスト割れの状況がしばらく続く。	
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長） 民間職業紹介機関（所長）	・営業職・販売職の求人案件が多く、小売・流通などで消費が活発な様子が見え始める。 ・製造関係全般が上向き傾向にあり、夏場以降、大手製造会社の関連会社、協力会社の求人が増えてくる。
	変わらない	人材派遣会社（支店長） 求人情報誌製作会社（従業員）	・どの業界も既存のパイを奪い合っており、パイ自体の拡大は見込めない。 ・景気回復の契機となるいい計画や情報があまりない。
		職業安定所（職員）	・製造業は不調が続いており、非正規従業員の雇用も続いている。
	やや悪くなる	新聞社 [求人広告]（担当者）	・県内企業で業績好調なところはほとんどなく、県外からの一部進出企業のみが業績を伸ばしている現状では、雇用も収入も良くならない。
	悪くなる	-	-